

土木系3コース フットサル大会

日時：2020年11月28日(土) 9時30分～12時00分

場所：東北大学青葉山グラウンド（ベンチ側2コート）

小雨決行。雨天時、翌29日(日)開催。当日の8:00までにご連絡します。

集合は9:20までにベンチ前をお願いいたします。

1. コロナ対策

試合に出場している人以外は、原則として全員マスクを着用してください。各自、当日の朝に「検温チェック」をお願い致します。タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避けてください。

以下の条件に1つでも当てはまる方は、今回の大会への参加は自粛をお願い致します。
(【東北大学課外活動ガイドライン(7/3)】Step4 参照)

- ・直近14日間以内に、発熱等の風邪症状が現れた者
- ・日本入国後、14日間が経過していない者
- ・新型コロナウイルス感染症陽性患者の濃厚接触者と判定されてから14日間が経過していない者
- ・PCR検査を受けてから14日間が経過していない者

(【東北大学課外活動ガイドライン(7/3)】Step4 参照)

2. 持ち物

運動のできる服装をお願いします。(スパイク禁止)、マスク、水分、キーパーグローブ

※ビブス、ボール、ストップウォッチ、ホイッスル、ホワイトボードはこちらで準備致します。キーパーグローブがない場合は軍手をお貸しします。

3. スケジュール

	開始	終了	工学部側のグラウンド		理学部側のグラウンド	
			対戦	審判	対戦	審判
第1試合	9時30分	9時50分	A1vs.A2	B3	B1vs.B2	A3
第2試合	10時00分	10時20分	A2vs.A3	B1	B2vs.B3	A1
第3試合	10時30分	10時50分	A1vs.A3	B2	B1vs.B3	A2
第4試合	11時00分	11時20分	A-1位vs.B-2位	B-3位	A-2位vs.B-1位	A-3位
第5試合	11時30分	11時50分	1位決定戦	A-1位vs.B-2位の敗者	A-3位vs.B-3位	A-2位vs.B-1位の敗者

※試合は前後半7分、休憩5分で行います。

第3試合までリーグ戦、第4試合からトーナメント戦です。

遅延の出ないように、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

●順位決定方法

・リーグ戦方式での順位は、勝点（勝利3点、引き分け1点、敗戦0点）の合計が多いチームを上位とします。

・勝点合計が同一の場合は、以下の順序により決定します。

(1)リーグ戦の得失点差 (2)リーグ戦の総得点数

4. チーム分け

リーグ	チーム
A	1 環境保全工学
	2 数理システム設計学・構造強度学
	3 環境生態工学・環境水質工学・災害ポテンシャル
B	1 環境水理学・水環境システム学
	2 材料力学・計算安全工学・先端社会基盤学
	3 構造設計学・建設材料学

【リーグ戦】

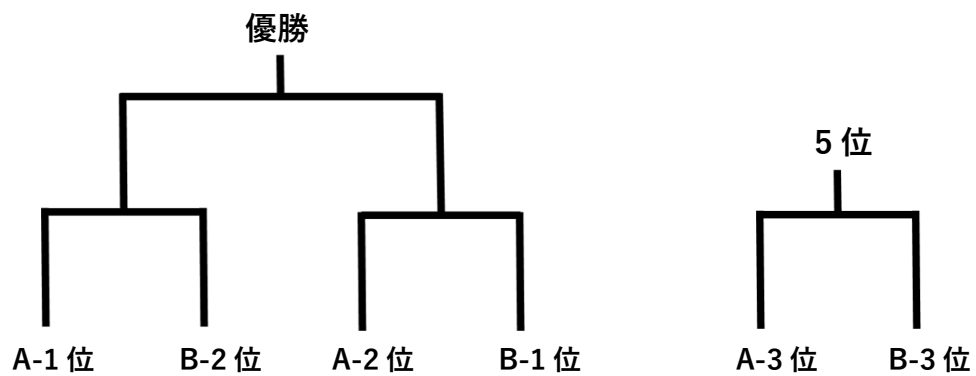
工学部側のグラウンド

	A1	A2	A3	勝点	得失点差	順位
A1						
A2						
A3						

理学部側のグラウンド

	B1	B2	B3	勝点	得失点差	順位
B1						
B2						
B3						

【トーナメント戦】



5. ルール

基本は JFA(日本サッカー協会)のフットサルルールに従います。ここでは特記事項や本大会に変更している点について記述します。

●基本

各チームのプレイヤーは、フィールド(手は使えない)が4人、キーパー(決められたエリア内で手を使える)が1人の計5人で行う競技です。交代は自由で、何度でも行うことができますが、5人以上の人間がフィールド内に入ってははいけません。

●アウトオブプレー

これはゲームが止まった状態のことです(時間は止めません)。以下の場合がアウトオブプレーになります。

- ・ ボールがタッチライン(縦)またはゴールライン(横)を完全に超えた場合。
- ・ 主審が試合を止めたとき。

●インプレー

アウトオブプレーに対して試合が動いている状態です。ラインを割ったり、主審が笛を吹いたりしない限りはインプレーとなります。

●キックイン

タッチラインを割った際に行うものです。以下に注意してください。

- ・ ボールが出た場所から行う。
- ・ ライン上に手でしっかり静止させる。

- ・相手競技者は 5m 程度離れる。
- ・直接ゴールが入ってもノーゴールとなる。
- ・蹴った人が連続してボールに触れてはいけない。

●キックオフ

キックオフは、フィールド中央にボールを置いて試合開始時やゴール後の再開時に行ってください。この時ボールは手で確実に静止させ、必ず前方に蹴り出さなければなりません。前方に出ない場合はやり直しとなります。キックオフ時に直接打ったシュートが相手ゴールに入っても無効となります。ただし、ゴールに入る前に敵味方に関わらず 2 人以上がボールに触れていれば有効になります。

●ゴールクリアランス

攻撃側が最後にボールに触れ、ゴールラインを割ったときに行います。

- ・ゴールキーパーは必ず手で投げて再開する。
- ・味方はペナルティーエリア外でボールをもらわなければならない。
- ・直接ゴールに入っても無効である。

●コーナーキック

守備側が最後にボールに触れ、ゴールラインを割ったときに行います。蹴ったボールが直接入っても有効になります。

●ゴール

ボールが完全にゴールラインを超えた場合に得点となります。審判は注意して見るようにして下さい。女性のゴールは 2 点とします。

●バックパス

キーパーは味方から意図的に出されたパスに対して手を使うことはできません。この判断は主審の判断とします。また、足以外(頭、胸、もも、膝)での意図的なパスについては、ゴールキーパーは手を使うことができます。もし味方のパスを手で取ってしまった場合、その地点で一番近いペナルティーラインから間接フリーキックを行ってください。

※仮にキーパーがエリア外で手を使った場合(バックパス関係なく)、その地点から直接フリーキックとなります。

●ペナルティーキック(PK)

PKは、自陣ペナルティーエリア内で直接フリーキックとなるファウルを起こした場合に行われます。

●禁止事項

・ハンド

手および腕でボールを触った場合、直接フリーキックとなります(エリア内のキーパーを除く、バックパスは別)。ただし、腕が体に密着した状態で故意でないものは、主審の判断で流してください。腕が体から離れている場合は、故意であるかに関わらずハンドとなりますが、主審の裁量とします。

・スライディングおよび激しいチャージ

基本的に、スライディングをした場合はボールに対してであってもファウルとなります。また、ボールが人から離れた状態で相手選手の進路を妨害した場合もファウルとなります。その他、足を蹴る、かける、相手を押す、抑えるなどでもファウルとします。

●その他の注意事項

- ・ゴールキーパーを試合中に交代する場合は審判に申し出てください。
- ・試合の途中で選手交代をする際、ビブスを着ている場合は完全に着た状態でコートに入ってください。着ないで入った場合は反則として相手ボールとします。
- ・眼鏡、時計、ピアスなどの着用は極力避けてください。破損の恐れだけでなく接触により相手を怪我させる場合があります。
- ・過去にはキーパーをしていた学生が怪我をしています。各チームなるべく怪我がないように対応してください。
- ・各チームの代表は上記のルールを確実に告知してください。また、審判をやる学生は学年にかかわらずある程度分かっている人が率先して申し出るようにしてください。（線審2人、主審1人）